

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事	年 月 日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府京田辺市甘南備台3丁目17-1	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) ニッタ・ハース株式会社 代表取締役社長 千葉光隆

環境マネジメントシステムの名称	JIS Q 14001:2004(ISO 14001:2004)
適用範囲	ニッタ・ハース株式会社 京都工場、三重工場、大阪本社、東京支店
導入年月日	2001年3月28日
認証番号	JUSE-EG-045
基本方針	地域及び地球環境への影響を考慮して、環境負荷を限りなく低減し、環境汚染予防に努めます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	①エネルギー使用量を対前年比で原単位1%削減 ②廃棄物の削減 ③緊急事態対応訓練実施 ④環境汚染防止(大気、騒音、振動、水質の基準値遵守)
目標を達成するための取組の内容	①工場棟の一部集塵機を休日停止の実施。昼休みの事務所消灯継続する。コンプレッサのエア漏れ改善でエネルギーのロスを軽減。 ②特別管理産業廃棄物(廃油)の自己再生。有価物処理の継続。製品の歩止まり向上及び不良率の削減。 ③漏洩する可能性がある作業場所での実施訓練。 ④大気半年1回、騒音、振動年1回、水質月1回測定を実施。
目標を達成するための取組の進捗状況	①工場棟の一部集塵機を休日停止実施済み。昼休みの事務所消灯継続中。コンプレッサのエア漏れ改善によりエネルギーのロスを軽減できた。 ②特別管理産業廃棄物(廃油)の自己再生中止。有価物処理の継続が困難になり、業者を調査中。製品歩止まり及び不良率は概ね計画通りに推移したが、一部製品歩止まりが計画を大きく下回った。 ③漏洩する可能性がある作業場所として新規に2箇所設定して訓練を実施。 ④大気半年1回、騒音、振動年1回、水質月1回測定を実施。異常発生時は、迅速に対応できるようにしている。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	エネルギー削減の施策実施と緊急事態対応訓練は対象作業場所の追加等計画通りに取り組んでいる。しかし、廃棄物関係は特別管理産業廃棄物(廃油)の自己再生作業中止と有価物処理の継続が困難となり、再度、作業の検討及び有価物処理の業者を調査している。製品歩止まりと不良率は概ね計画通りに推移しているが、一部の製品歩止まりが非常に悪化したので原因対策を進めている。また、大気、騒音、振動、水質の測定も確実に実施し、異常が発生しないように監視と予防に取り組めた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境法規要求事項一覧表を使用して、年1回定期見直しを実施している。 法律や条例改正は事務局が情報収集し、各部門に伝達して対応するようにしている。 2013年度については、法規制の遵守ができている事を確認した。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	毎年1回内部監査を実施し、また外部機関からも毎年1回ISOの審査を受けている。その結果をもとに評価・見直しを実施している。 2013年9月にニッタグループの環境・労働安全衛生マネジメントプログラム更新時、環境マネジメントシステムの内容見直しを実施した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。